

もくじ

- 元気っ子体験村… 1
- 明秀が総体優勝… 1
- 福祉推進部… 2~3
- 共同企画… 4
- 土曜学校が復活… 5
- 防災・防犯部… 5
- 宮田小150周年… 6
- 宮田の昔②… 6



宮田学区  
コミュニティ推進会  
第119号  
令和5年10月5日発行  
〈発行責任者〉  
岩間 廣道  
〈編集〉  
広報部

令和5年度

宮田元気っ子体験村

うれしい3年ぶりの開催

宮田元気っ子体験村  
実行委員長 大和田 剛志



3年間にもわたり、猛威をふるい続けたコロナ感染症も季節性インフルエンザ並みの「5類」扱いとなったことで、宮田コミュニティ推進会の大型行事である「宮田元気っ子体験村」を実施することができました。

例年ですと、宮田交流センターでの宿泊を含めて2日間でしたが、今年は日帰りで実施しました。「やってみよう！作ってみよう！」をテーマに、みんなで頑張りました。参加者は男子6名、女子7名、そして中学生の協力者7名でした。

まず午前中は「切り絵教室」です。初めて使うナイフを器用に使用して台紙を切り抜き、山折りと谷折りを繰り返し、生き



ているような犬を作りま

した。また、きれいな団扇（うちわ）も作りました。子どもたちの真剣に取り組み姿、集中力は圧巻でした。さらには早くできた子どもが、作っている途中の子どもの手伝いをする姿は、感慨深いものがありました。午後からは「日時計、星座早見表を作ろう」で、みんな楽しく作業しました。「体験火おこし」では、夕食後に行われる花火に使用する火種を作ることを目的として行いました。煙が出る程度かと思っていました。火がついて大喜びしている子どもや大人たちが何人もいました。

「体験ニュースポーツ」は、ユニカールを行いました。「天体望遠鏡を作ろう」では、組み立て式ながら15倍という本格的な天体望遠鏡で、みんな喜んで作っていました。

夕食後には「体験火おこし」で作った火種を使用し、花火を行いました。最後に「天体観測」です。あいにく雲が多少あり、月しか見られませんでした。「天体望遠鏡を作ろう」で組み立てた天体望遠鏡およびプロ仕様の本格的な天体望遠鏡で観測し、親子で楽しめたと思います。

宮田元気っ子体験村事業として3年間のブランクがあり、企画や準備に手こずりながらも協力いただいた実行委員の皆様には心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

おめでとう！  
明秀学園サッカー  
インターハイ優勝

明秀学園日立高等学校  
校長 埴 定之

このたび本校サッカー部は、地域のご声援の後押しで「令和5年度全国高等学校総合体育大会男子サッカー競技大会」で優勝することができました。部員・スタッフ一同、皆様のご支援に厚く御礼申し上げます。今後は、この優勝に甘んずることなく、さらに高みを目指してまいりますので、さらなるご声援を賜りますようお願いいたします。

全国高等学校総合体育大会 2023

優勝



福祉推進部からのお知らせ

幼児から高齢者まで

元気に過ごしましょう

宮田ふれあい健康クラブ

最近、転びやすくなったとか、家に閉じこもりがちだったり、物忘れが続いて心配だなど、自分の生活機能が低下していることに不安を感じている方は多いかと思えます。

当クラブはそのような高齢者を対象に、健康体操や



レクリエーション等を通して、介護予防となるための支援および健康増進を図ることを目的に実施しています。おおむね65歳以上の方で、要介護認定を受けていない（介護保険サービスを利用していない）方、自力で会場に來られる方が対象となります。

市社会福祉協議会の看護師や指導員のもとで、健康チェックをはじめ、軽スポーツ、脳トレ、ゲーム、創作活動、健康に関する講話などを行います。笑いもあり、楽しい時間を過ごせますよ。いつでも介護認定を受けず、元気に過ごすごとに平日頃から心がけましょう。

月2回、第1・3火曜日の午前9時30分から11時30分まで宮田交流センターの健康増進室で開催しています。当日は、

タオルや飲料水のほか、上履きをご持参の上、運動ができる服装で来てください。また、ボランティアで活動いただける方も募集しています。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

みやたおもちゃライブラリー

ライブラリー

おもちゃ遊びを通して、子ども同士や親子のふれあいを深めるとともに、ボランティアの参加により地域との交流を広げ、元気に子育てができるように支援するのを目指しています。



保育士による乳幼児の生活面やしつけなどに関する相談をはじめ、子育て支援サポーターによるお子さんや「親育ち」に関する相談にも応じます。

さらに、水遊びや七夕飾りづくり、節分、ひな祭りなど、季節に合わせた楽しいひと時を過ごせる行事やイ

今後の予定

「親と子の相談」「子育て相談」実施日

実施日	内容
10月20日(金)	親と子の相談
1月19日(金)	子育て相談

「親子ふれあい教室」実施日

実施日	内容
1月26日(金)	節分お面づくり
2月16日(金)	ひな飾りづくり



スタッフ全員、元気な子どもたちに会えることを楽しみに待っています。ぜひお誘い合わせの上、気軽に遊びに来てみませんか。また、ボランティアで活動いただける方も募集しています。子どもたちと楽しい時間を過ごしてみませんか。ご協力のほど、よろしくお願いたします。

ふれあいサロン

当サロンは、家に閉じこもりがちな高齢者等を対象に、地域の身近な気軽に集まれることができる場所、参加者やボランティアとの交流を通しながら、介護予防となるための生きがい支援および健康の増進を図ることを目的に実施しています。65歳以上の方で、自力で会場に來られる方ならどなたでも参加できます。ご近所の方との交流を深めてみませんか。主な活動としては、交流会をはじめ、趣味活動(手

ベントも企画しています。当ライブラリーは、毎週金曜日の午前9時30分から11時30分まで、宮田交流センターの健康増進室で開催



**あかねふれあいサロン**

部長 千葉 正子

**福祉推進部**

芸、絵画、折り紙など、健康に関すること（健康講話、軽スポーツ、シルバリアハビリ体操など）、レクリエーション（ゲーム、カラオケ、お花見、リングゴ狩りなど）を真剣な中にも和気あいあいと実施します。各サロンの開設状況につきましては下記に記載してありますので、参加してみたい方は代表者の方までお問い合わせください。



**ふれあいサロン 東友**



**ふれあいサロン 北町**



**清幡ふれあいサロン**



**浜の宮ふれあいサロン**

名 称	開催回数・曜日	時 間	開催場所	登録人員	代表者	電話番号
あかねふれあいサロン	月2回 第1・3月曜日	午後1時～ 午後3時	神峰町3-6-12 沼田 龍さん宅	17人	稲沢 よし子	21-2952
ふれあいサロン 北町	月1回 第3木曜日	午前10時～ 12時	本宮町3-5-1 本宮老人福祉センター	49人	鈴木 淳子	21-3550
ふれあいサロン 東友	月2回 第1・3金曜日	午前10時～ 12時	東町2-4-12 東友公民館	38人	小澤 恵子	23-1321
浜の宮ふれあいサロン	月1回 第3水曜日	午前10時～ 12時	東町4-1-5 原前集会所	19人	山本 玲子	21-1257
清幡ふれあいサロン	月1回 第2火曜日	午後1時～ 午後3時	東滑川町1-23-3 清水浜改善センター	19人	菅野 五十男	22-6020

\*ふれあい健康クラブ、おもちゃライブラリー、ふれあいサロンは、いつでも参加できます。まずは、見学においでください。

# 親子ふれあい教室 みやたおもちゃライブラリー

## ◎じゃぶじゃぶ水遊び

共同  
企画



連日の猛暑で家から出るのは、小さな子どもがいる家庭では大変です。小さな子は、地面に大人より近い位置にいるために暑さを感じやすく、熱中症リスクが高い傾向にあるそうです。そうは言っても、毎日家で過ごす、親子でストレスがたまってしまいます。

青少年育成部では「親子の孤立防止」に努める一方で、地域での子育てをモットーに「おもちゃライブラリー」にスパイスを加える



ため、月に1回のペースでイベントや工作、読み聞かせを行っています。

7月は、毎年人気のある「じゃぶじゃぶ水遊び」を開催しました。今年も5組の親子に参加いただき、安

## ◎親子ファッシュションショー

子どもの手は、大人が2枚から3枚重ねの軍手をしている感覚だそうです。そんな子どもたちが一生懸命に自分を飾る「親子ファッ

全に涼しく、楽しくできました。おもちゃの魚釣りをしたり、大きな盥(たらい)に水を張って水遊びをさせたり、絵本の読み聞かせ行いました。午前中の2時間ほどでしたが、子どもたちは夢中で遊んでいました。

読み聞かせでは、音を中心とした「オノマトペ」の絵本をはじめ、話に合わせた展開の楽しい紙芝居を用意しています。今後は、音楽に合わせてできる親子での手遊び、簡単なリトミックなどを考えています。

「おもちゃライブラリー」では、子どもが大好きなスタンプが家のすぐ近くの交流センターで毎週金曜日にみなさんをお待ちしています。少しでもたくさんさんの親子に参加していただければ、今後楽しいイベントや工作を考えてまいります。興味のある方は、お気軽にいらしてください。

「ファッションショー」を青少年育成部の8月イベントで開催しました。

夏休み期間中ということもあり、少し大きなデザイン



ナー兼モデルの子どもとアシスタントデザイナーのお母さんが奮闘する中、何をしてもかわいいうハイハイ姿のモデルですが、デザイナー泣かせでもありました。

ビニールの洋服に、お花やリボン、気に入った切り抜きをバランスよく貼っていき、スタンプお手製の王冠を頭に載せれば、世界に1着しかないオートクチュールの完成です。素敵な洋服を着たままゲームをしておやつをもらい、読み聞かせを聞いたり、これまたスタンプお手製の「びっくり箱」で楽しみました。また、ダンボールで作ったプールに泳ぐ紙製の魚を釣ったりしているうちにパーティーは終了となりました。

今回の企画は「子どもたちの発想を形にする」というとても楽しいものでした。子どもの成長の一つに指先をたくさん使って遊ぶことは、脳の働きを活性化させる効果があります。イベントや工作では、年齢に合わせてシールを貼ったり、色を塗ったりするだけの工作を用意しています。家ではなかなか大変な指先をたくさん使う工作をすることで、子どものアイデアを生み出す発想力や頭の中で思い描く想像力を具現化する力を育むお手伝いができればと思います。



### 青少年育成部

副部長 大和田 恵

# 復活!! 土曜学校

た児童は卒業してしまい、

コロナ禍の3年間、大人も、子どもも否応なく、ライフスタイルを変えざるを得なかったですね。密接・密集・密閉の自粛から「会えない」、「話せない」、「ふれあえない」なんて、こんなにつらいことは、誰も思わなかったでしょう。我慢を強いられたことがない子どもには、なおさらだったと推察いたします。



学校には未経験の児童しかいなかったのです。学校側も保護者の方もどんなことをするのか不安な気持ちをお持ちだったのでしょうか。そのため、参加者は8名と少数でした。

6月17日(土)、開校の後に日立市発祥のラジオ体操から幕開け、折り紙教室へ進みます。指導してくれていた先生のお話によると「近頃の児童は折り紙が苦手になっていくらしく、山折り・谷折り」などの言葉も伝わりにくかった」とのことでした。

折り紙を作る作業は、令和の生活様式には縁遠くなって、折鶴も知らない参加者が多かったです。授業時間は宮田小学校と同じ45分間で、授業の間に10分ほどの給水ブレイクと流水での手洗いをさみ、次の体験に移行します。ちなみに熱中症予防には、深部体温を下げるのが重要で、軽症の場合

なら頸動脈や脇の下を冷やし、それ以前なら手のひらを流水で冷やすとよいようです。次は「おやつ作り」の体験です。児童は、それぞれエプロンと三角巾で身支度を整え、調理室へ向かいます。ご飯に野菜を混ぜ込んでおにぎり作りが始まると、にぎるたびに歓声があがります。残ったご飯は、お土産に家に持って帰る参加者もいたようです。

子どもも大人も、楽しんで、みんな笑って「土曜学校」の復活です。

## 生涯学習部

部長 岩間 廣道

# 日立市避難所開設運営訓練

7月29日(土)、宮田小学校体育館にて「避難所開設運営訓練」を行いました。これは市の防災対策事業の一つで、市内23箇所にて市職員主導のもと一斉に実施されました。参加者は、市職員、当部員です。



内容は、防災倉庫内の備蓄品確認、発電機による投光器点灯訓練、パターシヨンの組み立て・収納訓練、感染症対策内容の説明です。当体育館も避難所としていろいろな設備が充実してきましたが、まだまだ不足点、改良点がある旨が出てきました。市と協力して解決してまいります。

# 防犯講演会



7月12日(水)、「防犯講演会」を日立警察署生活安全課の菊地聡志係長をお迎えして開催しました。講演内容は、交通死亡事故の現況、住宅侵入窃盗事件の発生状況、二セ電話詐欺の防止についてです。

二セ電話詐欺は「常に留守番電話の状態にしておくこと」がポイントです。相手は録音されることを嫌がります。茨城県警では「いばらきポリス」というアプリで様々な事件情報、防犯情報を提供しています。ぜひ利用してみてください。

## 防災・防犯部

部長 藤原 則之

# 宮田小学校創立150周年 記念イベントを開催

宮田小学校  
創立150周年記念事業  
実行委員長 岩間 廣道

宮田小学校が創立されたのは1873年、明治時代でした。卒業生の数は1万2千名を超えています。歴代校長先生は現在42代目、PTA会長は35代目を数えます。歴史を感じます。

このたび、創立150周年記念事業実行委員長を拝命しました岩間廣道です。生徒数がピークを記した1955年(団塊の世代)頃



大正14年当時の宮田小学校

「食べ物まをまくなんて」と嘆く地域住民や卒業生の方もおいでになると思います。が、当推進会は皆様には不愉快な思いをさせないように配慮して実施します。皆様とともに歩んで150年、これからもよろしくお願いたします。

には学年6クラス(50人編成)で、教室内が賑やかさで満ちあふれていました。さて、本記念事業は来る10月28日(土)、宮田小学校校庭にて実施されます。午前中は宮田小学校主催の運動会を開始し、午後からは宮田コミュニティ推進会主催のO×クイズなど、その後は在校生への紅白餅まき、お菓子まきというスケジュールを立てています。学校教諭の方々、PTAや保護者の皆様のコンセプトは「昔からの文化や習慣などを今の児童に伝承すること」と伺いました。

## 写真で見る 宮田の昔②

# 国道6号線 宮田の町並み

渡辺元さんが昭和35年に撮影し、「日立の中の6号国道―旧市内主街路集」と題したアルバムが郷土博物館に寄贈されています。その中から3月28日に撮影された1枚を紹介します。



中央の道が国道6号。トラックは南から北に向かって走行しています。右側に写っている4階建ての建物は、昭和34年夏に完成した店舗付市営住宅(神峰フールドセンター)です。突きあ

たりに  
神峰神  
社があ  
ります。

神峰フールドセンターは1階が店舗、2階から4階が市営住宅で「下駄履き住宅」とも呼ばれた新しいタイプの集合住宅です。前年、同様に日立フールドセンターが平和通りに建てられました。昔の道路は、ひどい状態でした。渡辺さんは「両脇の緑樹や土手はほこりで真っ白。店先にある商品はほこりに包まれ、砂煙対策でバイク運転にはゴーグルにマスクが不可欠。ハンドルの操作するだけで精いっぱい「砂利道」などとアルバムに記しています。

昭和30年代、トラック輸送に対応して国道整備(拡幅と舗装、付替え)が進みますが、マイカーブームがやってくるのはもう少し先のことです。昭和35年は市内の国道の拡張や舗装が進んだ時期です。この先、神峰神社を過ぎて川尻の商家に至るまでは、未舗装の道路が続きます。

日立市郷土博物館  
研究員 萩原 明子

## 第31回 宮田 ふれあいまつり

小雨決行

期日 11月5日(日曜日)  
午前9時から

会場 宮田小学校 グラウンド

### 編集後記

▼『宮田まなざし』第119号をお届けします。

▼明秀学園が「令和5年度全国高等学校総合体育大会男子サッカー競技大会」で優勝しました。

▼今号の『まなざし』は、久しぶりに盛りだくさんの事業報告ができました。特に「宮田元氣っ子体験村」が実施され、子どもたちの喜びが伝わる一ページになりました。

▼各部会の情報も、やっと部員のコミュニケーションが取れる状況になったことを伝えています。〈土龍〉